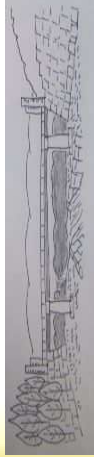


まゆだま

2010. 4. 27 発行
No. 337



連絡先：高田（榎原小学校）
東京歴教協 八王子支部

～ 爽やかな五月晴れの土曜日。連休明けでへとへとな中、運動会準備で忙しい中、研修の提出書類に明け暮れる中、「もっと勉強しないと！」の心意気で沢山の参加者が集まりました。「待ち伏せ例会」のはじまりはじまりい。～

5月の例会報告

○「どうなる？これからの教科書Ⅱ」○
教科書の問題は、教師として知っておかなければいけない重要事項ですが、教科書採択が教師の手の届かないところにある現状では、なかなか意識しにくいところ。特に新卒の先生方には、指導書とにらめっこする方が先になり、教科書自体に疑問を持つこともまだ少ないでしょう。教科書は、日々の授業で使用するものですが、その時代の教育政策を反映する重要な資料です。そういうことも少し勉強しておくのが八王子支部の例会の特徴です。今日の授業も大事です。過去の歴史から学ぶことも大事です。明日の教育を考えることも大事です。「見えぬけれどもあるんだよ見えぬものでもあるんだよ～金子みすず」

○「5年生の社会科1年間」○
「新卒です・・・」、「社会科をどう教えたらいいのかわからないまま今まで・・・」、「初めての高学年で・・・」というような挨拶が飛び交う中、何と！！20名を超える参加者が集まりました。職場の先輩が声をかけたり、同僚が誘い合って、前の職場で紹介されて、「と」人のつながり”で八王子支部の例会に来た方ばかりです。今回学ぶ「産業」も生産者と消費者のつながりの中で発展してきたもの。ですから、社会科というのはこうした「人のつながりや知恵」を学び合う教科であると言えるでしょう。その中で今回は特に5年生の「産業学習」に特化して、超ベテラン教師の汗と笑顔の実践を報告していただきました。実は報告者の坪井先生も、はじめからベテランだったわけではありません。やはり授業がうまくいかなくて、困っていた普通の先生でした。しかし、ある時、歴教協の大会に参加して学んだことで、「目が点」になり「目から鱗が落ちる」こととなり、それからは「愛と勇気と知恵」で授業作りを走り出すことになりました。多くの教師は「とりあえず前にやってみよう」と同じ授業のやり方を選びますが、坪井先生の基本的な考え方は、「この教材は、前はこういう授業にしたから、今回は別のやり方によろしく！」と前の実践に満足せず、違う方法にチャレンジすることです。ここに坪井先生の「子どもを引きつける授業の秘密」が隠されているのです。今日はそれを全て皆さんに大公開！というわけで、凛とした先生の声が、部屋いっぱい響きました。

1. 農業

- ★このタマネギどこから来たのかなあ？・・・食べてみる？・・・うん！！
- ★この機械いくらだろ？・・・機械化っていうけど？・・・調べてくるよ！！

2. 水産業

- ★この切り身なんて名前だと思っ・・・知らない・・・食べてみる？・・・うん！！

3. 工業

- ★ぼくのお父さん、このビデオに出ている！一生懸命働いてるんだね。今日は帰ったらビールついてあげようっ！工場見学って美味しいよねえ。月ウサギ！

4. 酪農

- ★この人、先生の教え子さんなんだあ。え？ウシの世話で手が大きくなるの！！？

5. 林業

- ★材木って作るのは大変だね。え？お塔婆ってお墓に立てるやつだよねえ。きゃあ。
- ★1本500円が3000円になるわけは？モミの木でできる？クリスマス？

6. 情報

- ★放送局の仕事って大変そう。♪ネットで借りて～自宅に届き～ポストへ返却♪

7. 日本の国土

- ★ええっ！沖ノ島って島じゃないじゃん！大丈夫かあ領土問題っていうのは？
- ★日本っているんなあ気候があるんだね。沖縄行ききたい、おれ北海道！

8. 公害

- ★「毒」ってカードを黒板に貼るだけで、つぼっちミッション1、成功！！



沢山の御参加ありがとうございました。
あまりに嬉しくて嬉しくて、思わず、お塔婆持ってぎちゃいました。ひやあ、会場が盛り上がり上がったのは当然ですね。

【5年生の社会科の3つの極意】

- ①本物と出会わせる（ヒト・モノ・コト）
- ②視聴覚教材の活用（ビデオ、写真、グラフ、るるぶ）
- ③教師自身が楽しむ（口調、動作、役者のように）

「教員っていい仕事ですね。子どもに教えるって言いながら、自分が勉強できるんです。」とお話を結んでいただきました。教師が楽しんで教材に向かえば、子どもも乗ってきます。普段から授業に役に立ちそうなものをいくつも準備をしておいて、子どもが興味を持って立ち止まったり、「え～」って驚いたり、疑問を持ったりしたときに、くすくすと笑える。これが、**「待ち伏せ授業」**です。さあ、あなたも明日から弟子入りしませんか？

- ◆5年生が初めてなので、年間の予定がわかりました。計画的にやることが大切だと思います。子ども達の「え〜」というおどろきがある授業は、とても素晴らしいと思います。地域にもどるといことは、子ども達が本当に理解する上で大切だと思います。坪井先生のように素晴らしい授業をやってみたいと思います。
- ◆今日、坪井先生のお話を聞いて、社会科は楽しい！と感じました。私が受けてきた社会科のイメージをくつがえされたかという感じがしました。教科書だけを見て、これから1年間どんなふうに社会科を教える行けば良いか非常に不安があった中、1年間の流れとして沢山の実践を聞くことができ、今日参加することができて本当に良かったと思います。ありがとうございました。
- ◆今日は貴重なお話を聞いていただきありがとうございます。社会科の事以外でも、明日からでも活かせるヒントがたくさんつまっています。大変参考になりました。また、私が苦手な社会科も、ほんの少しでも子ども達と一緒に学習が進められそう、今日は来て良かったです。学校にもどったら、学年の先生方にもヒントをおすそ分けできたらと思います。
- ◆忙しい中、いろいろな分野を勉強し、教材にすることはとても大変だと思います。日本の産業を取り上げているので、できれば現在の日本の水産業や、農業、林業の衰退の現状とその原因も取り上げてほしいと思います。特に統計的データをグラフで取り上げることが大事ではないでしょうか。
- ◆今日のお話を聞いて、自分も5年生の社会科を教えてみたいと思いました。ノート指導についてなど詳しく知りたいです。今度ノートの実物も見せていただきたいです。ありがとうございます。
- ◆様々な体験をありのままに教えていただきありがとうございます。もつと質問の時間が多目にあると例案がさらに学びの場となります。地域教材を取り扱う時の評価はどういうふうにやると気になりました。また学ばせて下さい。
- ◆5・6年の社会科(他の教科も)は、時間との戦いなので、計画的に先を見通してやらなければならないと思います。ので、教材研究が重要だということがわかった。大切なのは、「教師も楽しむ」、そして、「子どもをその気にさせる」ということを次に高学年を持つ時に参考にしたい。この2つは今の学年(1年生担任)でも役立てるので、ぜひ活用したい。
- ◆私の高校での世界史の授業と同じ雰囲気なんだと嬉しくなりました。生徒が小学校の頃の社会科が一番面白かったというアンケートがよくあり、こうしたところに原点があるのだと思う。そう考えると、高校の社会科授業は長い長い(10〜6年位)「待ち伏せ授業」なのだな〜とも。ただ小学生はお母さんに話をしてくれ、私の場合、高校生だとお父さんに話をしてくれ、お父さんから反響の手紙が来たのはちょっと違うのも興味深かったなと思うのです。
- ◆小学生の特性や、学校のある地域を更に上手に利用した授業ですね。小・中・高の社会科は、他教科より教師の創意工夫が可能な教科です。私も高校の社会科教師として、長い間そのことを意識して取り組んできました。やはり教師が自由に発想して創造することにより、素晴らしい授業に発展させられるという事を感じました。
- ◆本日は、貴重なお話をありがとうございました。元八の秋山先生教えていただいた、この会にお邪魔できて、具体的な指導を知ることができて、とても参考になりました。今年、八王子に異動してきたばかりなので、地元を教材にできるよう、私も開発していこうと思います。ありがとうございます。
- ◆「私は社会科が大嫌いだ」という坪井先生が、どうしてこのような素晴らしい授業ができたようになったのか、今日のお話を聞いてそれが分かったような気がします。先生の語り口調が見事で、途中で何だか自分が子どもになって授業を受けているような気がします。それと、子どもの書いた模造紙や新聞、ノートの字がきれいなのがびっくりしました。こうして先生が子どもと子ども向き合っているクラスの子どもは、こういうことがしっかりできる子どもになるのでしょうか。社会科も素晴らしいですが、先生の学級経営の見事な点も勉強になりました。また機会があったら例会にも参加させていただきます。今日は貴重なお話を聞かせていただき、有り難うございました。
- ◆初めての参加です。この会があるのは前から知っていましたが、なかなか来る機会がなくて、でも今日の勉強会で、授業のヒントがたくさん頂けたような気がします。また勉強したいと思いました。

- ◆毎日の仕事に追われて、なかなか学ぶ機会が無かったのですが、ちょっとだけ無理してでも、自分からこういう研究会に行かなければ、授業の成長はないということを感じました。また、例会で学ばせていただきましたと思います。
 - ◆5年生は2回ほど受け持ちましたが、社会科の授業は教科書中心で、自分でも面白くないなあと思っていました。子ども達もきつそうでしょう。今日の報告を聞いて、教科書以外に身の回りにある教材はたくさんあるけど、それを教材として活用できるかは教師の力量なんだと反省させられました。教科書を教えるのではなく、教科書で教えるというのはこういうことなのかとあらためて気付かされました。やはり経験は大事ですね。
 - ◆今日は有り難うございました。毎日仕事に追われてなかなかこうして考える時間がとれないことを反省しています。坪井先生の素晴らしい実践には、自分も楽しもう、子どもにもえ〜っと言わせようという気持ちで込められています。これを教えなさい、あれをやらせなさい、という気持ちでは、子ども達からは意図が伝わらなくなるわけありませんね。自分も楽しみたいと思います。
 - ◆初めて参加しました。こんなに勉強しようとしている先生方がいるんだと想いました。自分もこういう会で少しずつ学んでいこうと思います。今日は有り難うございました。
 - ◆本日は有り難うございました。教科書だけではなかなか授業のアイデアが浮かばず、遅々としていきました。今日の会をきっかけに社会科の授業力がアップさせていきたいと思います。楽しい会でした。また参加させていただきます。
 - ◆生活の記録という地道な関係作りが土台にあって、そこから家庭や地域にも目を広げていくというところはとても大切だと思います。授業を工夫する前に、教師の子ども理解があって、そこからものを食べるとか、調べ学習をすとか、見学に行くといった活動が生まれてくるのだと感じました。自分が5年生の授業をするとしたら、こうして子ども達が楽しめる授業ができるか、と考えると、まだまだ無理かなと思います。でも忙いかなんかと言っているは何も変わりません。だから自分ができることから少しずつ始めていこうと思います。同じ学年の先生とも話題にして、明日からの仕事に活かしていければと思います。今日はありがとうございました。
-
- ※今回、レジメが足りなくなりましたことお詫び致します。レジメの御希望等があれば、事務局までお問い合わせ下さい。(榎原小学校・高田)沢山の参加者の感想を優先し、事務局の感想は割愛します。

○ 6月・7月の例会案内 ○ ~2週続いてしましますが、ぜひ御参加下さいませ。~

★6月例会「エコロジ-と多摩のよこやまの道」

講師：樋口 俊子さん (八王子支部会員)

日時：2010年6月26日(土) 10:00~16:30

詳細：プラスチックごみの行方について 民間処理場見学

参加できる方は、6/25(金)夕方までに電話連絡をお願い致します。
事務局長の高田さん(勤務先：榎原小学校：042-626-1204) へて

★7月例会「問題解決学習 ~沖繩~ 捉え方・教え方」

講師：落合 大海さん (元私立学校教諭・八王子支部会員)

日時：2010年7月3日(土) 14:00~16:30

場所：台町市民センター (JR西八王子南口より徒歩10分)